

「未来デザインワークショップ」

成果報告

in 南公民館区

令和2年11月26日 公共施設管理課

はじめに

● 財務部 公共施設管理課の紹介

- ・ 平成31年4月設置
- ・ 旧建築課の営繕部門＋企画調整課の一部事務
- ・ 主な業務
 - ① 公共施設マネジメント
 - ② 建物系公共施設の設計、発注など



はじめに

詳しくは別紙資料を
ご覧ください

- 「公共施設マネジメント」とは
 - ・ 市が所有又は管理する全ての公共施設等を、総合的かつ計画的に整備し、管理、有効活用すること

(要するに)

- 施設等を安全に長く使う
- 施設等を誰もが使いやすい状態に保つ
- 施設等を100%利用する（サービス向上）

限られた財源
の中で実施

未来デザインワークショップ

成果報告

1. 取組の経過

- 現在、市では、公共施設マネジメントの取組として、将来のまちづくりを見据えた、施設の有効活用や再編を進めるための計画

「公共施設再編プラン」の策定を進めています。

- この「公共施設再編プラン」の策定にあたり、昨年度から地区ごとに地域の現状や課題、目指したい将来像、実現に向けてできる取組などについて、地域の方と一緒に考えてきました。

1. 取組の経過

● 検討の様子

多くの方が参加できるように、希望者を募り、ワークショップ形式で意見やアイデアをまとめました。



(参考) 「公共施設再編プラン」の概要

- 「公共施設再編プラン」とは、建物系公共施設(ハコモノ)について、次世代に過度な負担を残さないよう、用途(サービス)別及び地域別に、10~20年後を見据え、将来の行政サービスの維持に向け サービスの組み換えや多機能化、管理運営の方法の見直し、総量の適正化といった取組の考え方や検討の進め方、年次計画などを示す、まちづくりの実施計画です。
⇒ 5年程度で見直しを行いながら 長期的に取組を推進 (ゴールは20年後！)

(参考) 「公共施設再編プラン」の概要

- 「公共施設再編プラン」により地域ごとに進める取組のイメージ
すでに取組が行われている地区では次のような取組を実施
(既存の施設の使い方を見直し、地域の活動や活性化の取組へ活用)



例1：支所の会議室で公民館活動を実施（北会津地区）



例2：公共施設（基幹集落センター）で地域の案内所を運営（湊地区）

(参考) 「公共施設再編プラン」の概要

● 取組の視点

計画策定に向けて大切にしていること

① 地域の皆様との協働・参画

⇒地域の現状、課題、将来像の把握からスタート！

計画の初期段階
から市民参画

② 「活動」から「場所（施設）」を考える

⇒ニーズの多様化や時代の変化に対応

※「施設」の方（運営面など）を変える必要性

企画調整課
・地域づくり課
と連携！

③ 「将来」から「今」を見直す

⇒次世代の暮らしを想像しながら「今」できることを

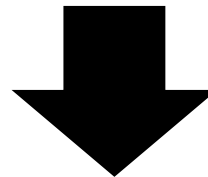
10年後、20年後
どうなる？

2. ワークショップの内容

- ワークショップでは、地域の施設活用の前提となる地域活動の現状と将来像を整理するため、以下について検討

第1回
(令和元年11月24日)

内容：① 地域の課題と資源の洗い出し
② 「よくない未来」と「よい未来」の検討



第2回
(令和元年12月15日)

内容：① 理想の地域の姿を実現するための
アイデアの検討

3. ワークショップの成果

① 地域の課題と資源の洗い出し

【主な地域課題】

- ・ 少子高齢化
- ・ コミュニティ、住民の交流の衰退
- ・ いのしし対策や防災対策
- ・ 交通手段がない

など

【主な地域資源】

- ・ 自然が多い
- ・ 施設が充実（公民館、コミセン、学校、総合運動公園など）
- ・ 地域のお祭りが盛ん
- ・ 買い物できる場所が多い

など

3. ワークショップの成果

② 「よくない未来」と「よい未来」

【よくない未来】（このまま何もしないとどうなるか）

- ・ 住民減少⇒空家の増加、若者の減少
- ・ 農業の後継者不足
- ・ 子ども会などコミュニティ活動の衰退 など

【よい未来】（目指したい将来の地域の姿）

- ・ 地域住民の活動や多世代交流が盛ん
- ・ 元気で働き続ける高齢者が多い
- ・ 農業法人化を推進し産業活性化 など

3. ワークショップの成果

③ 理想の地域の姿を実現するためのアイデア

- ・ **子どもに農業体験を！**
⇒ 干し柿体験などを通じて多世代交流を促進
- ・ **学校の空き教室を活用！**
⇒ ゲーム大会や昔の遊び講座など
- ・ **空家の活用！**
⇒ 子どもの交流の場、地域住民で維持管理、移住者へPR
- ・ **産業と地域の力を融合！**
⇒ 地域のリーダー育成、農産物のブランド化、
地域全体で子育て世代を支援・見守り

門田地区

地域に必要な活動とその拠点としての
公共施設を利活用するアイデアを考えよう!!

よくなる未来

仕事

- 企業、工場が減り入り口も減る。
- が減り 田舎の撤退
- 農業が減少する
- みんがず種の担い手が減り、消滅

教育

- 子どもが減り 学校に元気が出ない
- 使が減り 学校が合点
- PCの使い過ぎ、文章の手書きが減る

健康

- 弱った高齢者が激増
- 人ごいの病院が114か
- 病院での待ち時間が長くなる

コミュニティ

- 地区の子どもの数がなくなっている
- 空き家が増えすぎ、町内環境が悪化している
- 地域活動に若人が参加できなくなる

高齢化

五法 暮らし... 健康...

体育施設

公園 買い物

まちを 活性化

良くなる未来

仕事

- 安定した大企業と誘致でき若人が増える
- みんがず種の担い手が増え、ます村会津が商品に
- 農業の企業化
- 自衛隊をよぶ
- 高卒で働く企業が増える

教育

- 元気で働ける若者が増えている
- おまほ 自然と生活
- おまほ 自然と生活

サービス

ネットでの買い物が増える

災害

自助! 公助! 自助! 公助!

コミュニティ

小中高生もいっしょに地域活動ができる

各地区で 取り組みやすい

20年後の未来

2019.12.15

南川町第2回
門田地区

@南公民館

未来デザインワークショップ

～地域と施設の
未来デザイン～

目的：地域に必要な活動とその拠点としての
公共施設を利用するアイデアを考えよう！！
(活)

子どもたち
一緒に活動する
地域に！

子どもに

食をメインに
農畜にこだわる
地域に！

農体験を
柿農家さんと
一緒に

さわし柿 干し柿を
つくってしよう！

から柿
住民は... コミュニティは...
町内会
区委員会

チラシ作成
回覧板を
回る

イベントの
運営
企画

柿農家の
組合が
場所・材料を
提供

施設の
利用の幅を
広げる

地域を愛する
地域のファンを
増やそう！



空き教室の活用

小学校が3つも！

① ○○大会を増やす

公立(行政)は...
空き教室の
利用許可を
得る
例 ビンゴ大会
お祭りなど

② 昔の遊びの伝承を

例 1. けいこ、4人ば
からべうた など

住民は...
子どもの
見守り隊を
下ランティス
で

情報
共有を
SNSで

イベントの
運営
企画



空き家の活用

① さら地のまに

更地の固定資産
税6倍の
制度見直し

税金安く...
地域の有志で草刈り

② 人に住んでもらう

会津の好む家

企業に
会津が
好きな人へ
空き家の存在
をPR

③ 子どもの交流の場を

1997年に先生をまよせ

住民は...

柿の木の
100%
サポート
会

空き家に
活用方法を
地域の人で
考える

市役所に
相談する
空家

子ども食堂
宿題カフェ
(多言語対応、
外国語)

自らのサポート
元教員の
お世話を焼く方



コミュニティサポート

門田地区

目的: 地域に必要な活動とその実施地としての公共施設を利活用するアイデアを考へよう!

柱①

方針: 地域活動を衰退させないために!!

柱②

町内を支える
コトづくりを
育成!!

神社・寺
公民館
資源: 祭り
町内会 門田独自の技術

産業と地域の
人口を増やす!!

熱心な親を
育成!! (町内会は
高齢者にとって
サポート!)

① 企業を育てる!!

町内会が
予算で
親に!

① 祭り
親の運営
おもしろ!!

PR
出す

出店
共賛

地域
づくり

小学校の
車両分庫を
養成しなく

新規発
する
(アイデア)

企業への
地場産業の
アイデアを
出す

公共
地場産業の
リソースを
育てる

町内会
地場
産業を
つくりたい!!

門田
の
NEW

リソースを
育成する!

② 地域に
見守る社会をつくる

② 学生×親
が
新しい
イベント
祭り!!

大学生と
親を
つなぐ
イベント
開催

今の親世代は
見守る
町内活動!!

子育ての
つなぐ
社会へ!

隣の家の
子ども
を知ろう!

地域社会
が
支援する
(近所での
声かけ)

公共
子どもに
対する
イベントがある

移動の
手段は...?

複合施設
と
移動手段
をつくる

町内会

おめ: 竹内菜留子